

# しが未来ワークショップ2024（結果概要）

（主催）特定非営利活動法人男女共同参画をすすめる会・IYOU淡海

（共催）滋賀県

（後援）滋賀県教育委員会、草津市、草津市教育委員会

\*「公益財団法人みらいRITA」助成事業

## <テーマ> 若い世代が「暮らし続けたい」「暮らしたい」滋賀の未来

「多様性を認め合い、生涯を通じ自分らしく活躍することができる社会」は、新たな価値創造や新しい豊かさにつながり、経済や地域社会の活性化をはじめ滋賀の魅力をより増すものです。滋賀に暮らす人々がこれからも「暮らし続けたい」と思える、一旦県外に出た人たちも、県外に住んでいる人々も「滋賀で暮らしたい」と思える「ありたい滋賀の未来の姿」を創り、価値観を共有し、その未来を実現するための行動変革に結び付けていきたいと考えています。そこで、このたび、滋賀からSDGsを推進し、地域の課題解決と地方創生を目指していくため、「しが未来ワークショップ2024」を開催しました。ワークショップでは、将来世代となる子どもや若者の皆さんを真ん中において、企業、経済団体、市民団体、教育、行政など社会を構成する多様な人たちが協働し、未来起点で長期的に描く「バックキャストिंग」で「滋賀の未来シナリオ」を考え、共創アクションを考えました。

### 【1日目・ユース】

（日 時）令和6年2月18日（日） 13:00～15:00

@草津市立市民総合交流センター・キラリエ草津 5階501会議室

（参加者）中学生、高校生、大学生、ユース世代 27名

#### 13:00～13:30 □プレゼンテーション

地方創生の処方箋－ジェンダーギャップの解消に向けて

大崎 麻子さん（（特活）Gender Action Platform理事/YUIみらいプロジェクト ジェンダーエキスパート）

#### 13:30～15:00 □ワークショップ

ファシリテーター 園田 綾子さん（公益財団法人 みらいRITA 代表理事 / 株式会社 クレアン 会長）

### 【2日目・社会人】

（日 時）令和6年2月19日（月） 13:00～16:00

@滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 3F 研修室

（参加者）経済団体、企業、金融機関、市民団体、行政など33名

#### 13:00～13:30 □プレゼンテーション

地方創生の処方箋－ジェンダーギャップの解消に向けて  
大崎麻子さん（（特活）Gender Action Platform理事/YUIみらいプロジェクト ジェンダーエキスパート）

#### 13:30～16:00 □ワークショップ

ファシリテーター 上井 雄太さん（株）フューチャーセッションズ

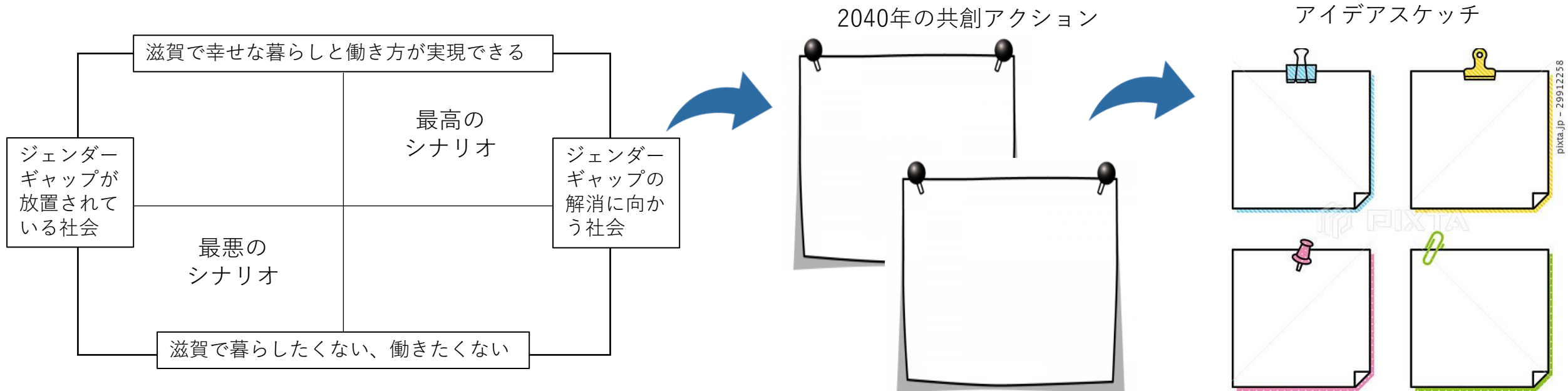
DAY 1 でユースメンバーが描いた未来やアクションを踏まえ、大人メンバーでの「2040年の理想のジェンダーギャップが解消され、滋賀で幸せな暮らしと働き方が実現できる未来」を描き、理想の未来への実現に向けて「アクション」や「アイデア」を共創しました。

「2040年のありたい未来」を分かち合う - ジェンダーギャップへの理解を深める

⇒理想の未来を描き、理想の未来の実現に向けたアクション・アイデアを広げる

⇒自分に取り組んでみたいアクション・アイデアを決め、具体化する

⇒未来に向けたアクション・アイデアを共有し、実現に向けた一歩を踏み出す



## 《満足度・ユース》

満足 80%  
やや満足 20%

- ・ 様々な人の意見を聞くことができた。多方面からの見方、新しい考え方を知ることができた。視野が広がった
- ・ 普段関わることにない人と関わり、新しい知見を得られた。新しいアイデアをもらえた
- ・ いろいろな世代に人と交流できた。中高生と未来のことについて話し合うことができた
- ・ 未来について考えることができた。未来を考える楽しさを知れた
- ・ これからの滋賀県について深く考えられた。滋賀について多くの学びを得た
- ・ ジェンダーについて深く考え詳しくなれた。新しい学びを深めることができた。自分の考えを深められた
- ・ ジェンダーギャップの仕組みの説明が分かりやすかった
- ・ グループでもっと話し合えたらよかった。これからのことについてグループで考え、話す時間が少なかった

## 心に響いたワード

- ・ 持続可能。SDG s の定義
- ・ ジェンダー。男女平等。ジェンダーギャップ
- ・ ジェンダーの認知度が男女によって違う
- ・ 滋賀の40年後。未来の「理想」から考える。
- ・ バックカスティング。ゴールからの逆算。未来の記憶
- ・ 小さなことでも未来に踏み出せる
- ・ 自分のことは自分で決める
- ・ 世界を変えるにはまず自分が変わることに
- ・ 思いやり、尊重
- ・ 保育士の収入。男女で経験する業務が違う
- ・ 女性が子どもを連れて出張ができる
- ・ 豊岡市



## 今後の取組について

- ・ 自分の選択でジェンダー平等な成果を応援できる
- ・ ジェンダー平等を実現できるような礎となる
- ・ 男女格差を是正する
- ・ これからも中高大生が集まり話せる場に参加する
- ・ このような場に進んで参加し、考えを深めたい。
- ・ ジェンダーについてもっと知る機会を持ちたい
- ・ ジェンダーギャップについてもっと知りたい
- ・ 学校内の格差を減らしてほしい
- ・ 理想的な未来を確定してから逆算していく
- ・ 未来を具体的に考えたので、それを実現するためのことをする
- ・ 少しでも滋賀県が住みやすいようにしてほしい
- ・ 滋賀がよりよい未来になるとよい
- ・ 滋賀県の魅力を知らない人に伝え、滋賀の活性化に貢献したい
- ・ ジェンダーギャップの是正に取り組む会社について知りたい
- ・ ジェンダー平等の観点は、仕事を選んでいく中で重要な事柄
- ・ 就職時には調べるなど自分にできることを進めていく
- ・ 留学の充実
- ・ 部活動（新聞部）を通じて今日の活動内容を全校に伝える
- ・ 今日話し合ったことを周りの人と共有したい



## 《満足度・社会人》

満足 75%

やや満足 25%

- ・非常に熱気あふれたワークショップ。協力的で温かい雰囲気、前向きな意見、具体的なアイデアが出てよかった
- ・様々な業態の人との意見交換が非常に勉強になった。新たな視点に気づくことができた。学びが多かった
- ・自分の意見を考える中でより深く考えることができ、他人の意見も非常に参考になった
- ・普段は開催する側なので、こうした会に参加して新しい人と交流できてよかった
- ・幅広い業種・世代の人と滋賀の現状や未来について話せてよかった。自ら発言する機会が多かった
- ・ジェンダーについての正しい方向性の説明と、今後の課題を話し合えたのが勉強になった
- ・これまで考えたことのないテーマで知見が広まった。みんなで明るい未来を考える機会になり楽しかった
- ・最後のワークが不完全燃焼

- ・ジェンダーギャップ。ダイバーシティ。滋賀メソッド
- ・日本は断トツの最下位です
- ・未来志向。2040年問題
- ・無償ケアの再配分。
- ・県内企業の賃金格差。地銀のジェンダーギャップ
- ・国連での常識と日本の差
- ・SDGsの前文にジェンダーに関する記載がある
- ・持ち味を生かす
- ・話し合いは「ええやん」から始まる
- ・豊岡メソッドの漫画。安心カンパニー制度
- ・役割分担DAY。ミモザ。ええやん
- ・非婚の女性就労者の多さ。結婚と両立できないかも
- ・働きすぎ。人間らしさが失われているのが当たり前

## 今後の取組について

- ・経営者が、今企業ができることは何かを考える機会をつくる第一歩になった
- ・「ジェンダー」が、企業経営に必要なキーワードであることを周知したい
- ・大企業、中小企業事業者へ波及させる取り組みが必要
- ・ジェンダーギャップ解消に向けて地道にやること、急ぐことを考えて対応する
- ・社内で少しずつ実践していく。身近なことから取り組む
- ・自分が管理職になったときに、働きやすい職場をつくる
- ・社内教育もワークショップで、自然と学びや知ることから始める場を作っていきたい
- ・国連や国の方針、データ分析などを生かし、企業グループで検討したい
- ・ジェンダーギャップの解消と一緒に取り組んでいきたい
- ・「しゃべる場」を増やし、企業における豊岡メソッド「滋賀県版」が作れるとよい
- ・対話の場をつくる。対話はポジティブに
- ・男女に関係なく働ける社会になるために、今後も考えていかないといけない
- ・本当にジェンダー平等になっていくかどうかは、今後の考え方にかかっている。役所を巻き込んで是非カタチにしよう
- ・「ゆるしが」を実現させたい



# ユース - 2040年滋賀の未来

## 滋賀 Youth 最悪のシナリオ

2024  
2.18

特定非営利活動法人 男女共同参画をすすめる会

IYOU 淡海



高齢化社会

AIに仕事をとられる  
→ 企業が立ち行かなくなる

長時間労働  
仕事が好き...  
政治家が高齢男性ばかり

人口減少

ヤングケアラー増加

育児・介護で  
主に女性が離職

賃金格差  
女性は16便金の仕事ばかり

若い人が滋賀から流出

地域のつながり  
消滅

キャリア相談できない

防災で女性目線がない

YUI 未来プロジェクト

Partner: 公益財団法人みらいRITA YUIみらいプロジェクト  
Graphic: Narrative graphicier 野月そよか

## 滋賀 Youth 最高のシナリオ

特定非営利活動法人 男女共同参画をすすめる会

IYOU 淡海



2024  
2.18

男女間賃金格差なし

女性も要職に  
社長 管理職

男性も育休が取れる

単純作業はAIに

性別にとわらず  
進路決められる

女性の議員が増える  
→ 多様性のある法制度

男女ともしっかり  
休みが取れる  
仕事と趣味両立

働きながら  
学べる 大学学費無料

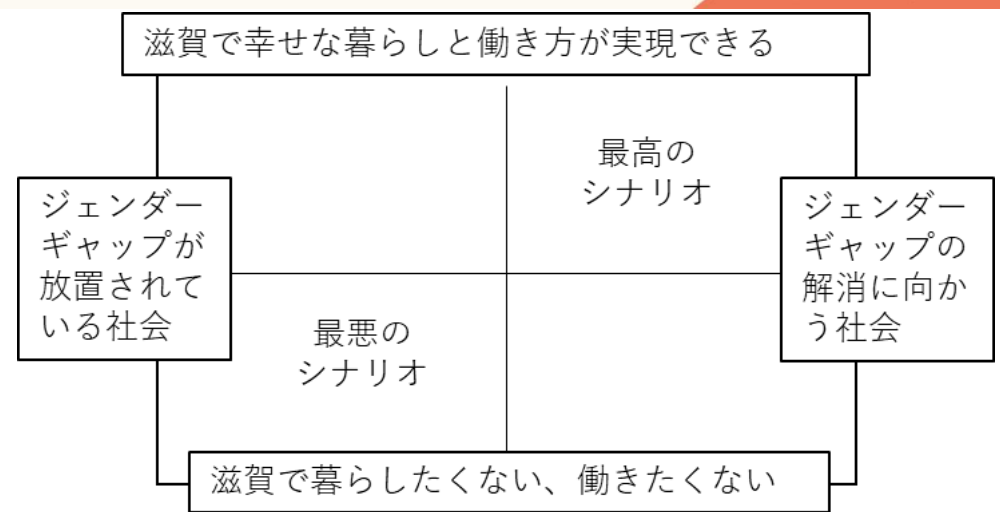
ケア労働給与UP

子どもが遊べる場所  
が増える

ON/OFF

YUI 未来プロジェクト

Partner: 公益財団法人みらいRITA YUIみらいプロジェクト  
Graphic: Narrative graphicier 野月そよか





# 滋賀 Youth アクションプラン

特定非営利活動法人 男女共同参画をすすめる会

## IYOU 淡海



2024  
2.18

### 政治に参画する



### より良い働き方



### 滋賀の魅力発信

### 環境保全



### 教育無償化 教育費を安価



### ジェンダーについて学び・知る



### 発信する



### 学校でジェンダー平等のためのアクションをとる



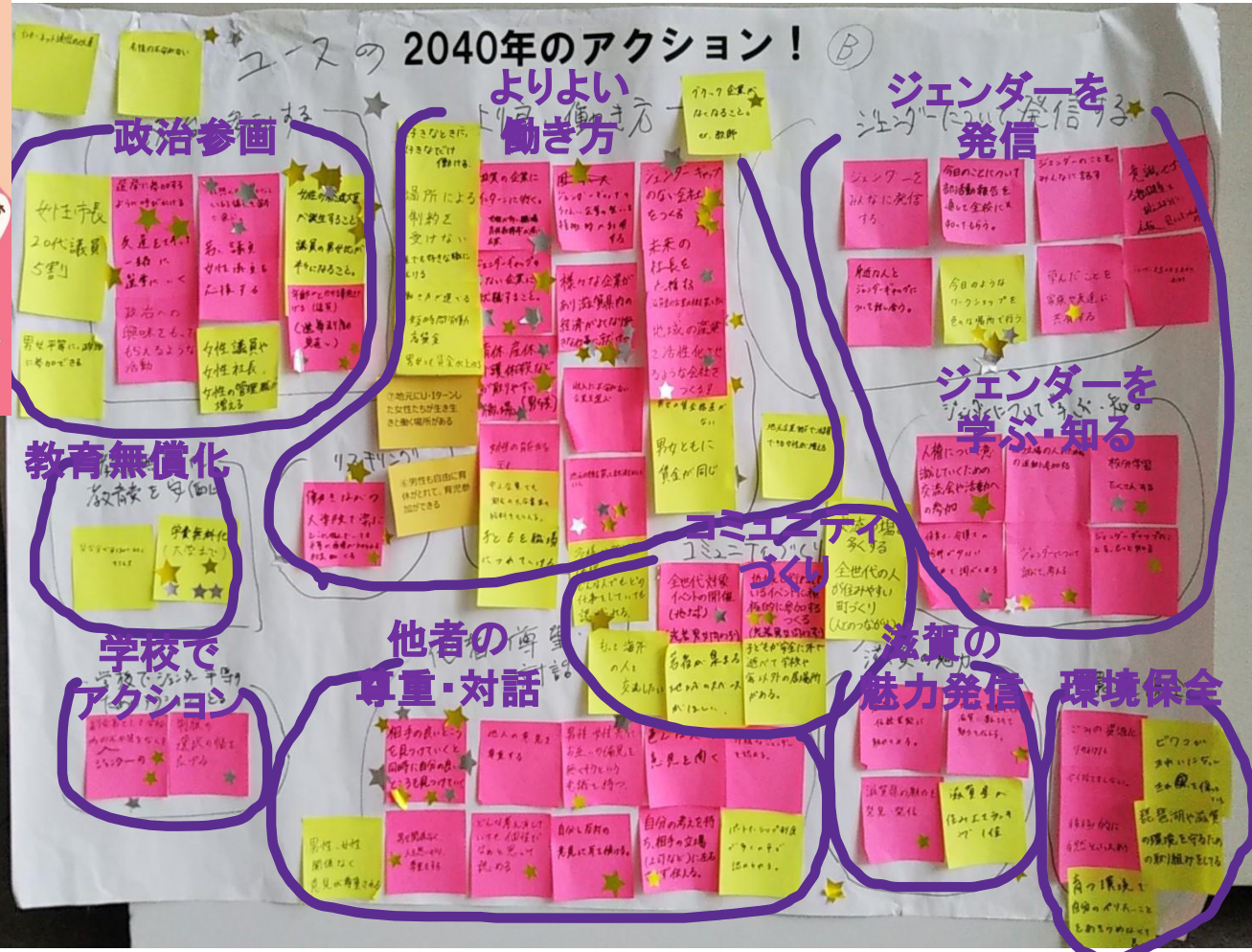
### 他者の尊重・対話



YUI みらい プロジェクト

Partner: 公益財団法人みらいRITA YUIみらいプロジェクト  
Graphic: Narrative graphicer 野月そよか

# ユース —アクションプラン





# おとな - 2040年滋賀の未来

## 滋賀おとな 最悪のシナリオ

2024  
2.19



特定非営利活動法人 男女共同参画をすすめる会  
IYOU淡海

Partner: 公益財団法人みらいRITA YUIみらいプロジェクト  
Graphic: Narrative graphicer 野月そよか

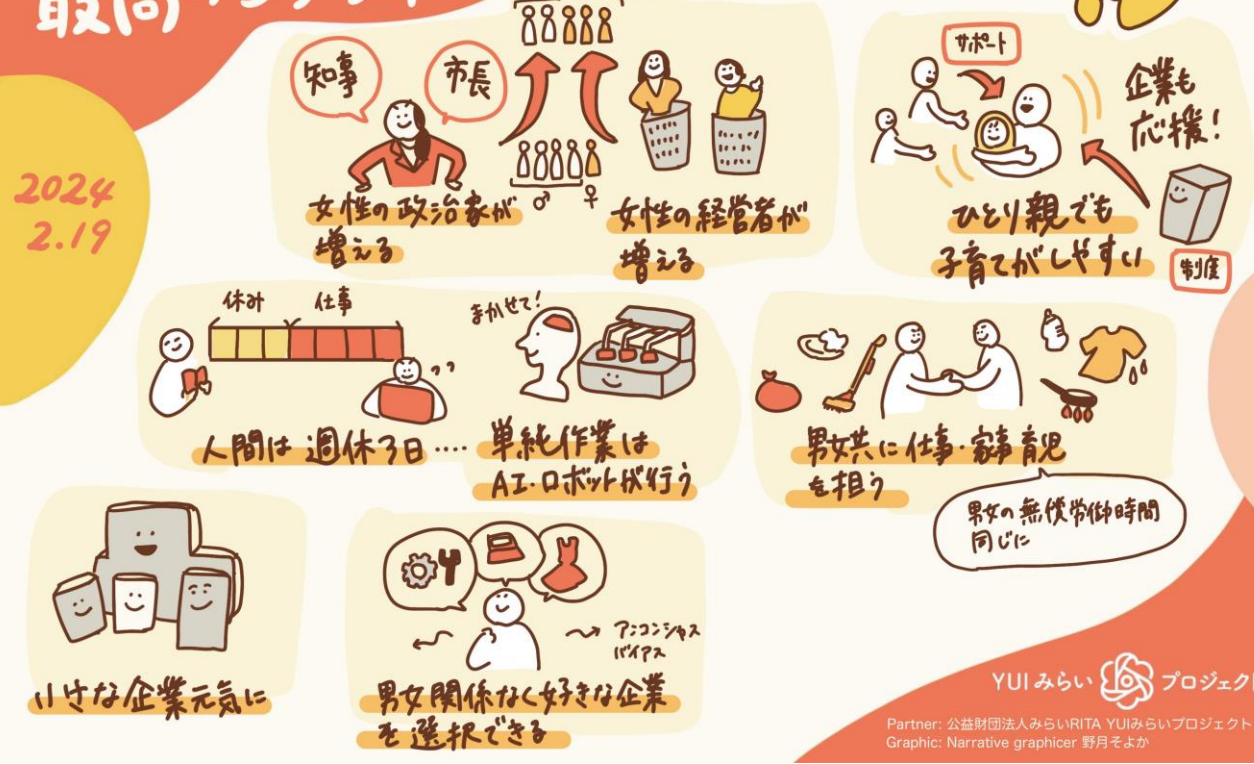
## 滋賀おとな 最高のシナリオ

特定非営利活動法人 男女共同参画をすすめる会

IYOU淡海

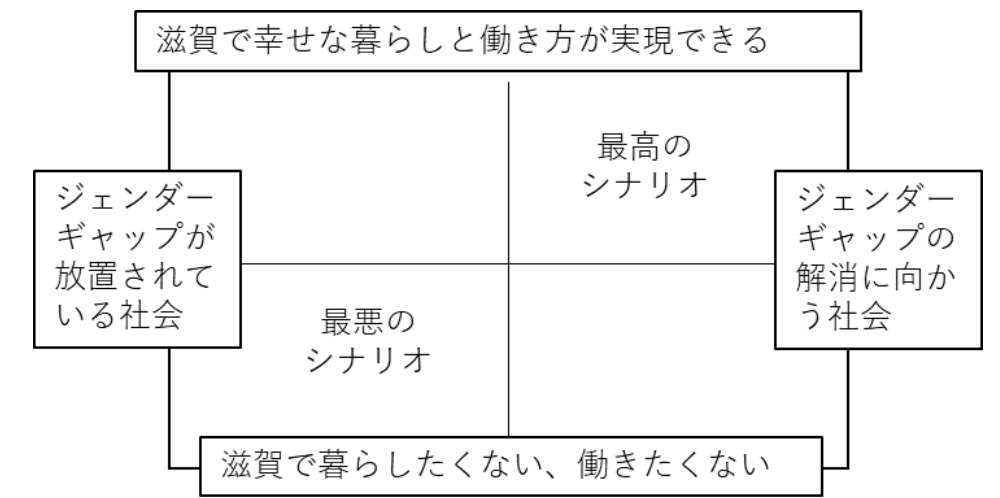


2024  
2.19



YUIみらいプロジェクト

Partner: 公益財団法人みらいRITA YUIみらいプロジェクト  
Graphic: Narrative graphicer 野月そよか









YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

役割交代 DAY 毎月8日

親 ↔ 子

Title・題名: **役割スイッチDAY**

What・なに: お互いの普段の役割を交替する!

Who・だれ: 滋賀県民 (家庭・職場)

When・いつ: 毎月8日 (3月8日はスキャター)

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

**滋賀県版 ワークイノベーション会議**

99歳以上の高齢者 (年齢、性別、国籍)

何れも、ととの生活に役立つ...

収入が確保できる。

調査

若者、女性の意見をもとに

企業、行政、商工会、経営者 (高年、40代)

調査

気づきの機会 (未来をみる)

Title・題名: **ワークイノベーション会議**

What・なに: 若者、女性の意見をもとに調査

Who・だれ: 企業、行政、商工会、経営者 (高年、40代)

When・いつ: 調査

Where・どこで: 県庁内

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

99歳以上の高齢者 (年齢、性別、国籍)

何れも、ととの生活に役立つ...

収入が確保できる。

調査

若者、女性の意見をもとに

企業、行政、商工会、経営者 (高年、40代)

調査

気づきの機会 (未来をみる)

Title・題名: **ワークイノベーション会議**

What・なに: 若者、女性の意見をもとに調査

Who・だれ: 企業、行政、商工会、経営者 (高年、40代)

When・いつ: 調査

Where・どこで: 県庁内

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

99歳以上の高齢者 (年齢、性別、国籍)

何れも、ととの生活に役立つ...

収入が確保できる。

調査

若者、女性の意見をもとに

企業、行政、商工会、経営者 (高年、40代)

調査

気づきの機会 (未来をみる)

Title・題名: **ワークイノベーション会議**

What・なに: 若者、女性の意見をもとに調査

Who・だれ: 企業、行政、商工会、経営者 (高年、40代)

When・いつ: 調査

Where・どこで: 県庁内

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

**週3日勤務 (106h)**

正社員、パートの区別なく

AI、デジタル活用

心身ともに健康、効率

男性も女性も子育て介護できる

もっと働きたい人は副業、かけもち

Title・題名: **週3日勤務 (106h)**

What・なに: 正社員、パートの区別なく、AI、デジタル活用、心身ともに健康、効率、男性も女性も子育て介護できる、もっと働きたい人は副業、かけもち

Who・だれ: **VP3 SHIGA**

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

元気に働ける環境をつくる

の会社

Title・題名: **元気に働ける環境をつくるの会社**

What・なに: 元気に働ける環境をつくる

Who・だれ: 元気に働ける環境をつくるの会社

When・いつ: 元気に働ける環境をつくるの会社

Where・どこで: 元気に働ける環境をつくるの会社

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

1日1日 (1日は週4日)

あつた人、あつた人

金、金、金

農業

百人一首大会

7-10 ワークシオンズ 滋賀県式と体質改善を促す

アゲアゲ、アゲアゲ、アゲアゲ

Title・題名: **ワークシオンズ**

What・なに: 7-10 ワークシオンズ 滋賀県式と体質改善を促す

Who・だれ: アゲアゲ、アゲアゲ、アゲアゲ

When・いつ: 7-10

Where・どこで: アゲアゲ、アゲアゲ、アゲアゲ

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

**ええやん**

としゃべれる場

Title・題名: **ええやん**

What・なに: としゃべれる場

Who・だれ: ええやん

When・いつ: としゃべれる場

Where・どこで: としゃべれる場

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

**女性政治家を応援の**

若い世代、企業と連携

Title・題名: **女性政治家を応援の**

What・なに: 若い世代、企業と連携

Who・だれ: 女性政治家を応援の

When・いつ: 若い世代、企業と連携

Where・どこで: 女性政治家を応援の

YUIみらいプロジェクト アイデアスケッチ

**先生カ!!**

向Upプロジェクト

君の給料も上げてあげよう

Title・題名: **先生カ!!**

What・なに: 先生カ!!

Who・だれ: 先生カ!!

When・いつ: 先生カ!!

Where・どこで: 先生カ!!

<おとな>  
アイデアスケッチ

# 私たちが目指す共創アクション「滋賀みらいプロジェクト」 －若い世代が「暮らし続けたい」「暮らしたい」滋賀の未来

持続可能な開発目標（SDGs）は、17のゴールからなり、持続可能な社会・経済・環境へと変革することを目指す相互に不可分一体の目標です。それは「誰一人取り残さない」形で、将来世代の可能性を摘まない社会・経済・環境の実現に向けた羅針盤です。

中でも、「ジェンダー平等」は、目標5の単体の目標のみならず、前文にも謳われ、実施原則では「新たなアジェンダの実施において、ジェンダーの視点をシステムティックに主流化していくことは不可欠である」としています。

日本では今、サステナビリティの最大の脅威である人口減少に直面している中で、「多様性を認め合い、生涯を通じ自分らしく活躍することができる社会」は、新たな価値創造や新しい豊かさにつながり、持続可能な経済や地域社会をはじめ滋賀の魅力を増すものです。

そこで、このたびのワークショップでは、「幸せな暮らしと働き方が実現できる」を縦軸に、「ジェンダーギャップの解消に向かう社会」を横軸に捉え、「最高のシナリオ」実現のために、ユース世代が考え提案し、それをベースに多様なアクターからなる大人たちが議論し「共創アクション」を作り上げていただきました。

ついでに、この「共創アクション」を、若い力も生かしながら多様なアクターとともにカタチにしていきたいと考えています。滋賀に暮らす人々がこれからも「暮らし続けたい」と思える、一旦県外に出た人たちも、県外に住んでいる人々も「滋賀で暮らしたい」と思える「ありがたい滋賀の未来の姿」を、多様なアクターとともに創り、価値観を共有し、その未来を実現するための行動変革に結び付けていきたいと考えています。

（参考）

1 「特定非営利活動法人男女共同参画をすすめる会・IYOU淡海」は、1993（平5）年に「連絡協議会」が発足。2004（平16）年の滋賀県立男女共同参画センターの業務受託を機に、2008（平20）年にNPO法人化。現在に至る。

2 このプロジェクトは、「公益財団法人みらいRITA」が実施する助成事業です。助成期間は、2024年1月から最長2年間（2025年12月まで）です。

（採択団体）

うらほろジェンダーアクション（北海道浦幌町）／気仙沼つばき会（宮城県気仙沼市）／一般財団法人ほくりくみらい基金（石川県 金沢市）／特定非営利活動法人 男女共同参画をすすめる会・IYOU淡海（滋賀県近江八幡市）／特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ（愛媛県松山市）／女性がリードするビジネスと社会の変革『WE-Nextの会』（福岡県福岡市） 計6団体

\* 公益財団法人みらいRITA（代表理事） 藺田綾子（株式会社クレアン 代表取締役）

2017年に設立。未来の世代に、よりウェルビーイングで持続可能な社会を実現するための取組を助成金と伴走支援で応援。中でも、日本の最大の課題の一つであるジェンダー不平等に取り組む事業に注力。2023年2月には、世界各地で女性・女の子の支援を行ってきたシャネル財団とパートナーシップを契約